

成田市立図書館サービス計画－2024（R6）年度事業計画一覧表－

協議事項（3）－3

通番	検討する事項	取組内容	2024（R6）実施目標	2024（R6）達成基準	2024（R6）結果	評価
1.図書館の基本的なサービス---						
1--ア-①	蔵書の構築	幅広い情報を、多様なメディアで収集します。	継続実施	・図書、雑誌、AV、電子書籍、DBの選定を行い、過不足なく予算執行する。 ※DBの詳細は、3-（2）-イ-①、3-（3）-イ-①に記載 ・電子書籍の収集方針案を作成する。	・受入点数 紙資料 図書：32,860点 雑誌：6,900点 AV：269点 電子書籍 図書：2,003点 雑誌：5,745タイトル ・成田市立図書館収集方針を8月に改正した。 ・成田市立図書館電子書籍資料選定基準を3月に策定した。	B
1--ア-②		蔵書構成や書架の全体的な見直しを検討します。	継続実施	各サービスグループにおいての課題を集約し、継続して見直しを検討する。	各サービスグループにおいては検討しているが、全体としての検討には至っていない。	D
1--ア-③		視聴覚資料の積極的な収集に努めます。	継続実施	AV資料の購入について適切に予算執行する。	購入点数 CD：128点 朗読CD：33点（30タイトル）・DVD：105点	B
1--ア-④		展示等により、資料紹介を行います。	継続実施	展示を行う（本館：一般、児童展示各5回以上、公津の杜分館：一般、児童展示各5回以上）	本館展示 一般：5回 児童：4回 季節：15回 2階：2回 書架横展示：33回 カウンター前展示：5回 出張展示：1回 （内コラボ展示：4回） 公津の杜展示 一般：7回 児童：6回 書架横展示：32回 児童季節展示：19回（内コラボ展示：3回）	A
1--イ-①	貸出・レファレンス等のサービス提供	貸出・閲覧サービスを継続して実施します。	継続実施	・継続して、貸出・閲覧サービスを実施する。 ・貸出傾向について研究を行う。	貸出累計：901,983点（76,165点／月） 電子書籍：図書16,614点 雑誌8,316点 展示資料や電子書籍の利用傾向を調査した。	B
1--イ-②		レファレンスサービスを継続して実施します。	継続実施	・継続して、レファレンスサービスを実施する。 ・質の向上を目指し研究を行う。	レファレンス累計 窓口：一般15,992件 児童1,624件 電話：933件 メール：10件 文書：1件 合計18,560件 レファレンス関連研修参加：3回	B
1--ウ-①	利用促進	広報活動等により利用促進を図ります。	継続実施	・「広報なりた」に図書館講座、おはなし会の広報及び読書週間に合わせ図書館利用促進特集を掲載する。 ・電子書籍の利用促進のPRを行う。	広報 ・「広報なりた」10月15日号 市立図書館開館40周年「貴重な資料でみる成田の歴史」 電子書籍・ブックスタート事業 ・館内に電子書籍の新着案内を掲示した。 ・市民課の広告モニターに電子書籍・ブックスタートの案内を掲載した。 市政施行70周年及び開館40周年記念イベント 「図書館で謎解きゲーム」「本との思い出フォトコンテスト」 「文学講座（椎名誠氏）」「#わたしの推し本POP展示」「ぬいぐるみおとまりかい」「市史講座（若狭徹氏）」「成田の歴史を語る座談会」	A
1--エ-①	データベース提供の拡充	公津の杜分館でのデータベースの提供を進めます。	公津の杜での導入について需要も含め調査を行う。	インターネットコーナーの利用状況およびデータベースの需要について調査を行う。	公津の杜のインターネットコーナーの利用状況を記録した。	C

評価 A:達成基準をクリアし、かつ十分な成果がある B:達成基準をクリアしている、あるいは年度末までに達成する見込みである
C:達成基準をクリアしていない、あるいはクリアしているが課題がある D:未実施 E:方向転換

通番	検討する事項	取組内容	2024（R6）実施目標	2024（R6）達成基準	2024（R6）結果	評価
2.利用者層ごとのサービス-(1)乳幼児・保護者--						
2-(1)-ア-①	おはなしかい	今後も実施を継続します。	継続実施	継続して、「0・1歳のおはなしかい」「2・3歳のおはなしかい」を実施する。	各種おはなし会を継続して実施した。 0・1歳のおはなしかい：10回 57組 124名（台風の影響で中止1回） 2・3歳のおはなしかい：6回 16組 34名	B
2-(1)-ア-②		回数、曜日、時間等について、必要に応じて検討します。	回数・曜日・時間等の変更について試行する。	「0・1歳のおはなしかい」「2・3歳のおはなしかい」を曜日・時間等を変更して試行する。	「0・1歳のおはなしかい in 三里塚」 場所：三里塚コミュニティセンター 2月14日（金曜日） 参加者：4組 8名	C
2-(1)-イ-①	ブックリスト配布	今後も配布を継続します。	継続実施	継続して、ブックリスト「あかちゃんも絵本が大好き」「絵本が大好き - 2・3歳 -」「絵本が大好き - 4・5歳 -」の配布を実施する。	ブックリスト配布数 「あかちゃんも絵本が大好き」：598部 「絵本が大好き - 2、3歳 -」：65部 「絵本が大好き - 4、5歳 -」：32部	B
2-(1)-イ-②		配布場所については追加を検討します。	2024（R6）年度対象外（R7年度開始）	2024（R6）年度対象外（R7年度開始）	2024（R6）年度対象外（R7年度開始）	
2-(1)-イ-③		内容については適宜見直し、改訂を行います。	「あかちゃん」「2・3歳」ブックリストを見直し、改訂を行う。	「あかちゃんも絵本がだいすき」の内容を見直し、改定する。	着手したが、改定には至らなかった。	C
2-(1)-ウ-①	ブックスタート事業	絵本の配布を検討します。	2023（R5）年度終了	目標達成済	2023（R5）年度終了・目標達成済	
2-(1)-ウ-②		赤ちゃん相談絵本読み聞かせ事業を継続し、運営主体や方法について、検討します。	継続実施	・継続して、ブックスタート絵本読み聞かせ事業を実施する。 ・ブックスタート事業や絵本の受取について周知を行う。	・実施回数12回 延べ対象者759人 延べ参加者594人 読み聞かせ実施者415組 絵本配布冊数583冊 ・市内子育て支援施設にチラシを送付 送付先：44施設	B
2-(1)-エ-①	セカンドブック	実施に向けて検討します。	2026（R8）年度の実施に向けて検討する。	ブックスタート事業の取り組みで明らかになった課題を整理し、具体的な計画を立案する。	実施計画に資料を提出し、事業についての説明を行った。	B
2-(1)-オ-①	館内託児サービス	実施に向けて検討します。	他自治体の先進事例の収集を行う。	先進事例について調査し、報告書をまとめる。	未着手	D
2-(1)-カ-①	子育て支援コーナー等の設置	「出産」「育児」「家計」等、子育てに関わる資料の児童コーナー隣接を検討します。	継続実施	・子育て応援コーナーについて、資料の利用状況を調査する。 ・資料の入れ替えを行う。	排架資料点数：75点、貸出点数：175点 出版年の新しい資料を置くため、資料の廻及を行った。 廻求資料点数：5点	B
2-(1)-カ-②		国や市の制度、相談窓口、関係各課のリーフレットやイベントの案内等を集約した情報提供の実施を検討します。	継続実施	児童コーナーにおいて、資料の配布を継続する。	配布資料の種類 本館：5種（なりた子育てガイドブック2024：140部） 公津の杜：12種（なりた子育てガイドブック2024：184部）	B

通番	検討する事項	取組内容	2024（R6）実施目標	2024（R6）達成基準	2024（R6）結果	評価
2-(1)-キ-①	幼稚園、保育園等への団体貸出	申し出のあった市内幼稚園、保育園への団体貸出の実施を継続します。	継続実施	・継続して、団体貸出を実施する。 ・運用規定について、見直しを行う。 ・利用案内を作成する。	・幼稚園、保育園へ、団体貸出を継続実施した。 登録数：2団体 貸出冊数：220冊 ・運用規定の見直し、利用案内の作成については未着手。	C
2-(1)-キ-②		今後は、申込書の送付等、図書館からの働きかけを検討し、園等での読書活動を支援します。	市内の園等での読書活動の実態調査を行う。	市内の園等に、読書活動に関するアンケート調査を実施し、取りまとめを行う。	3月に市内の園等に、アンケート調査「令和6年度 子育て支援施設における子どもの読書活動に関するアンケート」を行った。 送付先：54施設 回答数：28施設	C
2-(1)-ク-①	乳幼児向け閲覧スペースの設置	転んだり、ぶつかったりしても怪我をしない床材や建具等の導入を検討します。	おはなし室の内装の改善を検討する。	おはなし室の修繕について見積もりを取り、2025（R7）年度予算に計上する。	課内で検討し、今年度の予算範囲内で修繕を実施した（おはなし室のクッションカバーの張替え）。	A
2-(1)-ケ-①	施設・設備のバリアフリー化	ベビーカーで来館できる駐車場の整備等、施設のバリアフリー化を図ります。	駐車場の周知を行う。	ベビーカーで来館できる駐車場の周知についての手段を検討する。	館内広報誌「紙ふうせん」及び図書館ホームページにて、ベビーカー・車椅子専用駐車場について周知した。8-ア-①を含む。	B
2-(1)-コ-①	授乳室等の設置	専用スペースの設置に向けて検討します。	館内サインについて検討する。	授乳スペースの案内を館内に設置する。	授乳スペースの案内掲示を、館内4か所に設置した。	B
2.利用者層ごとのサービス-(2)小学生・中学生--						
2-(2)-ア-①	ブックリスト配布	今後も全校への実施を継続します。	継続実施	継続して、ブックリスト「ばんざいいちねんせい」「いいほんみつけた1,2ねんせい」「いいほんみつけた3,4年生」「いいほんみつけた5,6年生」「いいほんみつけた中学生」を最新版に更新し配布する。	市内小中学校・義務教育学校への配布を継続した。 ブックリスト配布数 「ばんざいいちねんせい2024」 計1,189部 「いいほんみつけた1,2ねんせい2024」 計2,159部 「いいほんみつけた3,4年生2024」 計2,357部 「いいほんみつけた5,6年生2024」 計2,432部 「いいほんみつけた中学生2024」 計3,627部	B
2-(2)-イ-①	中学生向け書架整備	今後も実施を継続します。	本館のヤングアダルトコーナー（青少年）の設置についての検討と合わせて、中学生向け書架について改定を検討する。	YA担当と協議し、「いい本みつけた！中学生」書架（じどうYA）の名称改訂や選定資料の方向性について検討する。	YA担当と3回会議を行い、コーナーの名称や書架の管理方法について協議し、利用促進方法を決定した。	B
2-(2)-ウ-①	資料展示	今後も実施を継続します。展示テーマの頻度については検討します。	継続実施	継続して、常設展示5回以上及び季節や行事に応じた展示を実施する。	本館 児童展示：4回 季節展示：15回 公津の杜 児童展示：6回 季節展示：19回	B

通番	検討する事項	取組内容	2024（R6）実施目標	2024（R6）達成基準	2024（R6）結果	評価
2-(2)-エ-①	おはなしかい	今後も実施を継続します。	継続実施	継続して、土曜日のおはなしかい、季節のおはなしかい等を実施する。	本館及び公津の杜分館において、定例のおはなし会、季節のおはなしかい等を継続実施した。実績は以下の通り。 本館 ・土曜日のおはなしかい 48回 339名（えほんのおはなしかい 37回 276名、おはなしかい11回 63名） ・なつやすみおはなしかい 第1部32名、第2部49名 ・はるやすみおはなしかい 第1部34名、第2部32名 公津の杜分館 ・杜のおはなしかい 17回 101名 ・杜のなつやすみおはなしかい 16名 ・杜のふゆのおはなしかい 6名 ・ぬいぐるみおとまり会 11月3日（日）-4日（月） 参加者：22名	B
2-(2)-エ-②		子どもたちの参加意欲促進に努めます。	2024（R6）年度対象外	2024（R6）年度対象外	2024（R6）年度対象外	
2-(2)-オ-①	イベント、講座	今後も実施を継続します。	継続実施	科学あそび講座等の児童向け講座を実施する。	・科学あそび講座「宇宙ってどんなところ？ 一月齢早見盤をつくろう」7月26日（金） 参加者：午前の部33名、午後の部20名	B
2-(2)-オ-②		中学生向けの図書館講座について、調査研究を行い、実施を検討します。	中学生向けの図書館講座について実施を検討する。	中学生を対象とした講座の企画案を作成する。	児童文学作家の斉藤洋氏を講師とする小学生・中学生対象の講座の企画案を作成した。 2025（R7）年度実施予定。	B
2-(2)-カ-①	学校訪問おはなし会	今後もボランティアと協力し実施を継続します。	継続実施	・継続して、学校訪問おはなし会を実施する。 ・職員及びボランティアのスキルアップのため、研修を実施する。	・学校訪問おはなし会 17校 142学級 3,713名 ・ストーリーテリング研修会（全4回） 5月9日（木）、9月12日（木）、11月7日（木）、1月23日（木） 延べ58名	B
2-(2)-カ-②		回数や実施方法について検討します。	2024（R6）年度対象外	2024（R6）年度対象外	2024（R6）年度対象外	
2-(2)-キ-①	読み聞かせボランティアの養成	今後も実施を継続します。	継続実施	「絵本の読み聞かせ講座」を実施する。	絵本の読み聞かせ講座（全2回） 6月7日（金）参加者10名、6月14日（金）参加者9名	C
2-(2)-ク-①	町探検の受入れ	今後も実施を継続します。	継続実施	町探検の受入れを実施する。	町探検 本館：5校82名。美郷台地区会館図書室：1校13名。 公津の杜施設見学：1校92名。	B
2-(2)-ケ-①	職場体験の受入れ	今後も実施を継続します。	継続実施	・職場体験の受入れを実施する。 ・職場体験の実施マニュアルを作成する。	・職場体験 4校9名。 ・説明資料と生徒用のマニュアルを作成した。	B
2-(2)-コ-①	読書に困難を感じている子どもの支援	ニーズやサービス内容について、調査研究を行います。サービス方針及び資料収集方針を立案し、サービスを実施します。	収集方針、収集・提供方法、保管場所を検討する。	2-(6)-エ-①に含める。	3月1日（土）に、「りんごの棚」を新設した。 資料選及点数：18点	B

通番	検討する事項	取組内容	2024（R6）実施目標	2024（R6）達成基準	2024（R6）結果	評価
2-(2)-サ-①	学習スペースの整備	学習スペースの確保、運用を検討します。	2024（R6）年度対象外	2024（R6）年度対象外	2024（R6）年度対象外	
2-(2)-シ-①	子どもの居場所としての取組	関係各課と連携し、学校と家庭以外で子どもたちが安心して居られる場所として、図書館が利用できるように環境を整えます。	2024（R6）年度対象外	2024（R6）年度対象外	2024（R6）年度対象外	
2-(2)-ス-①	学校図書館の支援	今後も団体貸出を継続します。	継続実施	・継続して団体貸出を行う。 ・運用規定について見直しを行う。 ・GIGAスクール構想の一環として、タブレット端末で電子書籍サービスを提供する。	学校への団体貸出点数累計：1,233点 GIGAスクール対応電子書籍貸出点数累計：14,490点 運用規定の見直しについては未着手。	C
2-(2)-ス-②		団体貸出等図書館資料の配送体制の整備について、調査研究を行い、実施を検討します。	計画立案 団体貸出等図書館資料の配送体制について、モデル校での試行等を検討する。	学校との図書館資料の配送体制の整備について、担当課と協議する。	12月24日（火）に、「子どもの読書活動推進計画」の担当者会議を開催し、担当課と協議を行った。	B
2-(2)-セ-①	学校図書館司書等合同研修会の開催	今後も実施を継続します。 学校図書館司書の要望等を踏まえ、内容を検討します。	継続実施	学校図書館司書、司書教諭等を対象とした研修会を実施する。	学校図書館司書等合同研修会「ブックトークをつくろう」 講師：石橋幸子氏（東京学芸大学嘱非常勤講師） 11月22日（金） 参加者：48名（教諭 20名、学校図書館司書 25名、図書館司書 3名）	B
2.利用者層ごとのサービス-(3)青少年--						
2-(3)-ア-①	ヤングアダルトコーナーの新設	ヤングアダルト向けの資料と独立したスペースの確保、コーナーの設置を行います。	本館にヤングアダルト（青少年）コーナーを設置する。	本館にヤングアダルト（青少年）コーナーを設置する。	10月12日（土）ヤングアダルトコーナー「青春HiROBA（アオハルひろば）」を新設した。	B
2-(3)-イ-①	ヤングアダルト向け資料の収集	ヤングアダルトサービスについて調査研究を行い、資料の選定収集を行います。	継続実施	ヤングアダルト（青少年）向けの資料を継続して収集する。	青春HiROBA所蔵点数：2754点 （ヤングアダルト：2401点 進路棚：353点）	B
2-(3)-ウ-①	学習スペースの整備	学習スペースの確保、運用を検討します。	コーナー設置に合わせて検討する。	本館のヤングアダルト（青少年）コーナーに、学習スペースを設置する。	学生が優先的に利用できる閲覧席の設置 個人閲覧席：11席 グループ閲覧席：12席	B
2-(3)-エ-①	ブックリスト配布	ヤングアダルト向けのブックリストを作成し、市内学校等への配布、ホームページでの公開を行います。	2024（R6）年度対象外	2024（R6）年度対象外	2024（R6）年度対象外	

通番	検討する事項	取組内容	2024（R6）実施目標	2024（R6）達成基準	2024（R6）結果	評価
2-(3)-オ-①	イベント、講座	イベント、講座の実施を検討します。	継続実施	ヤングアダルト（青少年）向けのイベントを開催する。	図書館開館40周年記念イベント「#わたしの推し本」POP展示・第1弾 期間：10月12日（土）から12月26日（木）まで 参加者数：4校 計30名 ・第2弾 期間：12月28日（土）から3月27日（木）まで 参加者数：1校 31名	B
2-(3)-カ-①	学校との連携	市内中学校、義務教育学校、高校、大学、専門学校等との連携について調査研究を行います。	2024（R6）年度対象外（R9年度開始）	2024（R6）年度対象外（R9年度開始）	学校との連携：5回 イベント等の見学：3回	A
2-(3)-キ-①	活動の場の提供（メイカースペース）	事例の調査研究を行います。必要な設備品の整備を検討します。	2024（R6）年度対象外（R7年度開始）	2024（R6）年度対象外（R7年度開始）	2024（R6）年度対象外（R7年度開始）	
2-(3)-ク-①	メディアリテラシー向上の支援	事例の調査研究を行います。	2024（R6）年度対象外	2024（R6）年度対象外	2024（R6）年度対象外	
2.利用者層ごとのサービス-(4)成人--						
2-(4)-ア-①	蔵書の構築	幅広い情報を、多様なメディアで収集します。蔵書構成や書架の全体的な見直しを検討します。視聴覚資料の積極的な収集に努めます。展示等により、資料紹介を行います。	1. 図書館の基本的なサービスの再掲		1. 図書館の基本的なサービスの再掲	
2-(4)-イ-①	貸出・レファレンス等のサービス提供	貸出・閲覧サービスを継続して実施します。レファレンスサービスを継続して実施します。	1. 図書館の基本的なサービスの再掲		1. 図書館の基本的なサービスの再掲	
2-(4)-ウ-①	利用促進	広報活動等により利用促進を図ります。	1. 図書館の基本的なサービスの再掲		1. 図書館の基本的なサービスの再掲	
2-(4)-エ-①	データベース提供の拡充	公津の杜分館でのデータベースの提供を進めます。	1. 図書館の基本的なサービスの再掲 詳細は、3. 市民の課題を解決するサービス（2）ビジネス支援（3）法情報に記載		1. 図書館の基本的なサービスの再掲 詳細は、3. 市民の課題を解決するサービス（2）ビジネス支援（3）法情報に記載	
2-(4)-オ-①	活動の場の提供（メイカースペース）	事例の調査研究を行います。必要な設備品の整備を検討します。	2024（R6）年度対象外（R7年度開始）	2024（R6）年度対象外（R7年度開始）	2-（3）-キ-①の再掲	
2-(4)-カ-①	健康・医療情報サービス	詳細は第4章3.（1）【健康・医療情報】に記載	詳細は、3. 市民の課題を解決するサービス（1）健康・医療情報に記載		詳細は、3. 市民の課題を解決するサービス（1）健康・医療情報に記載	
2-(4)-キ-①	ビジネス支援サービス	詳細は第4章3.（2）【ビジネス支援】に記載	詳細は、3. 市民の課題を解決するサービス（2）ビジネス支援に記載		詳細は、3. 市民の課題を解決するサービス（2）ビジネス支援に記載	
2-(4)-ク-①	法情報サービス	詳細は第4章3.（3）【法情報】に記載	詳細は、3. 市民の課題を解決するサービス（3）法情報に記載		詳細は、3. 市民の課題を解決するサービス（3）法情報に記載	

評価 A:達成基準をクリアし、かつ十分な成果がある B:達成基準をクリアしている、あるいは年度末までに達成する見込みである
C:達成基準をクリアしていない、あるいはクリアしているが課題がある D:未実施 E:方向転換

通番	検討する事項	取組内容	2024（R6）実施目標	2024（R6）達成基準	2024（R6）結果	評価
2.利用者層ごとのサービス-(5)高齢者--						
2-(5)-ア-①	資料の収集、提供	大活字本、朗読CD等を継続して収集します。	継続実施	継続して収集する。	受入点数 大活字本：86点 朗読CD：33点（30タイトル）	B
2-(5)-ア-②		電子アプリ等を利用したオーディオブックの導入を検討します。	2024（R6）年度対象外	2023（R5）年度で調査・検討終了 2024（R6）年度対象外	2024（R6）年度対象外（R5年度終了）	
2-(5)-イ-①	高齢者施設等との連携	高齢者施設等へのニーズ調査を検討します。	他市の状況を調査する。	2023（R5）年度の調査をもとに引き続き情報収集し、報告書としてまとめる。	成田市栄町GH・小規模多機能連絡会（11月19日（火））および、地域ケア推進会議（3月19日（水））に参加して情報収集を行い、報告書としてまとめた。	B
2-(5)-イ-②		連携方法について調査研究を行います。	他市の状況を調査する。	他自治体の事例を調査し、報告書としてまとめる。	他市の参考事例が少ないため、市内の連携調査のため、関連機関の会議に参加し報告書としてまとめた。会議詳細は2-(5)-イ-①を参照。	B
2-(5)-ウ-①	来館困難者へのサービス提供	事例の調査研究を行います。	2024（R6）年度対象外	2024（R6）年度対象外	2024（R6）年度対象外	
2-(5)-エ-①	生涯大学院、明治大学・成田社会人大学等との連携	ニーズ調査を実施します。	2023（R5）年度の調査をもとに引き続き情報収集する。	利用者等へアンケートを実施し、ニーズ調査を実施する。	アンケート調査の実施には至っていないが、生涯大学院の見学によりニーズ調査を実施し、今後図書館で協力できる内容の提案に向け準備した。	C
2-(5)-エ-②		出張図書館等の連携事業を検討します。	昨年度の調査をもとに引き続き情報収集する。	2-(5)-エ-①に含める。	情報収集を行ったが、具体的な計画の作成には至らなかった。2-(5)-エ-①に含める。	C
2-(5)-オ-①	高齢者の生きがいを支える情報提供、学習支援	事例の調査研究を行います。	事例調査及び研究を行い、報告書を作成する。	庁内外で高齢者の生きがいや学習支援につながる講座等の情報を収集し、ミニ展示やちらし配布等を通じて図書館利用者に情報提供する。	・庁内外の高齢者向け講座等の一覧を作成した。 ・展示実施：4回 ・チラシ配布：1種	B
2-(5)-オ-②		講座の開催を検討します。	2024（R6）年度対象外（R7年度開始）	2024（R6）年度対象外（R7年度開始）	2024（R6）年度対象外（R7年度開始）	
2-(5)-カ-①	施設・設備のバリアフリー化	必要な設備を調査し、施設のバリアフリー化を図ります。	2024（R6）年度対象外	2024（R6）年度対象外	ホームページや掲示物等のバリアフリー対応の案内については8-ア-①に記載。	B
2-(5)-キ-①	メディアリテラシー向上の支援	事例の調査研究を行います。	2024（R6）年度対象外（R8年度開始）	2024（R6）年度対象外（R8年度開始）	2024（R6）年度対象外（R8年度開始）	

成田市立図書館サービス計画－2024（R6）年度事業計画一覧表－

協議事項（3）－3

通番	検討する事項	取組内容	2024（R6）実施目標	2024（R6）達成基準	2024（R6）結果	評価
2.利用者層ごとのサービス-(6)図書館利用に障がいのある人--						
2-(6)-ア-①	録音図書の製作	今後も録音図書の製作を継続します。	継続実施	新規録音図書を15点製作し、国立国会図書館へデータ提供する。	新規製作録音図書:11点 国立国会図書館にデータを提供した。	C
2-(6)-ア-②		所蔵するカセット資料のDAISY図書への変換作業を継続します。	継続実施	カセット資料120巻分のDAISY図書への変換作業を実施する。	カセット資料のDAISY化:20点（カセット資料120巻分） 国立国会図書館にデータ提供済	B
2-(6)-イ-①	マルチメディアDAISYの収集、提供	収集方針、収集・提供方法を検討します。	収集方針、収集・提供方法、区分、保管場所を検討する	マルチメディア図書を購入し、提供方法について検討する。	マルチメディアDAISY:53点購入 電算システム対応待ち	B
2-(6)-ウ-①	音訳協力者の養成	今後も音訳協力者養成講座を継続して実施します。	継続実施	音訳協力者養成講座を6回実施する。	音訳協力者のスキルアップ研修:6回延べ参加者:37名 ・9月6日（金） 9月13日（金） 9月20日（金） 10月4日（金） 延べ25名 ・10月29日（火） 延べ12名 ・1月16日（木） 延べ6名	B
2-(6)-エ-①	資料の収集、提供	点字図書、さわる絵本、大活字本、オーディオブック、LLブック、布絵本等を収集、提供します。	提供開始	りんごの棚設置に伴う資料を収集し、提供方法を検討する。2-2-（コ）-①を含む。	受入点数 点字:7点（一般2タイトル2点、じどう2タイトル5点） 点字雑誌（寄贈）:10点 LLブック:15点 朗読CD:33点、大活字:23点 うち、りんごの棚に排架したもの:4点 「りんごの棚」でLLブックの提供を開始した。	B
2-(6)-オ-①	配送貸出サービス	今後も継続して実施します。	提供開始	心身障害者用ゆうメールのサービスを開始する。	3月にサービスを開始した。	B
2-(6)-カ-①	サインのバリアフリー化	事例やガイドライン等の調査研究を行います。	2023（R5）年度終了	目標達成済	2023（R5）年度目標達成済	
2-(6)-カ-②		サイン計画を立て、館内サインを作成します。	館内サインの見直しを計画、実施する。	・サインの改善を実施する。2-（6）-コ-②、2-（7）-エ-③を含む。 ・サインのバリアフリー化の実施に必要な費用を調査する。	3月にサインの更新をした。自館作成としたため、費用の調査は不要とした。 ホームページや掲示物等のバリアフリー対応の案内については8-ア-①に記載。	B
2-(6)-キ-①	サービスの広報	今後も対象者への利用案内の送付等を継続します。	継続実施	利用案内や目録の送付を実施する。	6月:録音図書利用者14名に昨年度製作した録音図書の目録を配布した。 3月:障がい者福祉課に該当者抽出と発送ラベルの作成を依頼した。	B
2-(6)-ク-①	対面朗読	事例の調査研究を行います。	2024（R6）年度対象外（R8年度開始）	2024（R6）年度対象外（R8年度開始）	2024（R6）年度対象外（R8年度開始）	
2-(6)-ケ-①	施設・設備のバリアフリー化	必要な設備を調査し、施設のバリアフリー化を図ります。	2024（R6）年度対象外	2024（R6）年度対象外（R5年度終了）	2024（R6）年度対象外（R5年度終了）（大規模改修決定以降、再始動）	
2-(6)-コ-①	合理的配慮の提供の推進	講座・イベント時の手話通訳等の配置を検討します。	2024（R6）年度対象外（R8年度開始）	2024（R6）年度対象外（R8年度開始）	2024（R6）年度対象外（R8年度開始）	
2-(6)-コ-②		館内のサイン・案内等の改善を図ります。	館内サインの見直しを計画、実施する。	2-（6）-カ-①を含む。	3月にサイン更新を実施した。 ホームページや掲示物等のバリアフリー対応の案内については8-ア-①に記載。	B
2-(6)-コ-③		コミュニケーション手段を確保します。	2024（R6）年度対象外（R8年度開始）	2024（R6）年度対象外（R8年度開始）	2024（R6）年度対象外（R8年度開始）	

評価 A:達成基準をクリアし、かつ十分な成果がある B:達成基準をクリアしている、あるいは年度末までに達成する見込みである
C:達成基準をクリアしていない、あるいはクリアしているが課題がある D:未実施 E:方向転換

通番	検討する事項	取組内容	2024（R6）実施目標	2024（R6）達成基準	2024（R6）結果	評価
2.利用者層ごとのサービス-(7)多文化--						
2-(7)-ア-①	多言語資料の収集	今後も収集を継続します。	継続実施	多言語資料の収集を行い、課題を報告する。	受入点数 335点 （英語：224点 中国語：27点 韓国語：1点 その他アジア諸言語：22点 フランス語：2点 スペイン語：39点 ポルトガル語：20点） 店頭見計らい購入点数52点 （英語12点 ドイツ語11点 スペイン語7点 フランス語5点 ベトナム語3点 中国語8点 韓国語6点） 雑誌タイトル：13点 新聞：7紙	B
2-(7)-ア-②		ニーズに沿った選定の方法を検討します。	ニーズに沿った選定・購入・受入・データ管理方法を検討する。	2023（R5）年度に作成した手順に沿って、英語以外の自館作成MARCを作成する。	多言語資料MARC自館作成：36件（ネパール語絵本：16件 英語リクエスト資料：20件）	B
2-(7)-ア-③		電子書籍での多言語資料の提供について、検討します。	継続実施	継続して、電子書籍の多言語資料の収集を行う。	購入点数 電子書籍（多言語） 一般：156点 児童：526点（再購入を含む） 雑誌タイトル：5,613点	B
2-(7)-イ-①	多文化理解に役立つ資料の収集、提供	今後も収集を継続します。	多文化理解に役立つ資料について研究・調査を行う。	継続して、日本に関する多言語資料を収集する。	受入点数 日本に関する多言語資料（日本語学習38点を含む）：109点	B
2-(7)-ウ-①	日本語学習、検定資料の収集、提供	今後も収集を継続します。	継続実施	継続して、日本語学習・検定の資料を選定し購入する。	受入点数 日本語学習資料：38点 （英語：16点、中国語：5点、韓国語：2点、アジア諸言語：9点、スペイン語：3点、フランス語：3点）	B
2-(7)-ウ-②		選定方法を見直し、購入手法を検討します。	見直しに沿った日本語学習、検定資料の選定・受入方法を実施する。	店頭見計らいを計画、実施する。	8月に店頭見計らいを実施した。 日本語学習、検定資料購入：2点	C
2-(7)-エ-①	利用しやすい環境の整備	英語以外の言語の利用案内を作成し、配布します。	英語以外の言語の利用案内を作成する。	韓国語の利用案内を作成し、提供する。	韓国語の利用案内を作成し、3月から配布した。 （以降、新しい言語での利用案内は作成せず、やさしい日本語版で対応する。）	B
2-(7)-エ-②		やさしい日本語の利用案内の作成を検討します。	やさしい日本語の利用案内を作成し、提供する。	2023（R5）年度に作成した案をもとに、やさしい日本語の利用案内を作成・提供する。	やさしい日本語の利用案内を作成し、3月から配布した。	B
2-(7)-エ-③		館内の案内を見直します。	館内の多文化用案内を見直し、改善する。	2-（6）-カ-②に含む。	2-（6）-カ-②に含む。 3月にサインの更新をした。	B
2-(7)-オ-①	関係機関との連携	関係機関を案内する体制と資料を揃えます。	案内内容や定期的な資料の収集方法について、調査・計画立案する。	多文化支援に関わる機関を調査し、リスト化する。	市内の案内対象となる関係機関についてリストを作成した。	B
2-(7)-カ-①	学校との連携	日本語を母語としない子どもと、周囲の大人を支援するための資料収集を行います。多言語資料の提供について検討します。	日本語を母語としない子どもと、周囲の大人を支援するための資料について研究し、報告書を作成する。	市内の教育機関の情報を収集する。	市内小中学校等教育機関および県立高校で、日本語を母語としない児童・生徒数を調査した。	B

成田市立図書館サービス計画－2024（R6）年度事業計画一覧表－

協議事項（3）－3

通番	検討する事項	取組内容	2024（R6）実施目標	2024（R6）達成基準	2024（R6）結果	評価
3. 市民の課題を解決するサービス-(1)健康・医療情報--						
3-(1)-ア-①	蔵書の構築	医療の進歩に留意し、信頼性の高い資料を収集します。	継続実施	2023（R5）年度に検討した選書方法に沿い、継続して選書を行う。	通常選定数：245点、Mindsや協働選書による選定：19点	B
3-(1)-イ-①	利用者がアクセスしやすい書架の整備	サービスガイドラインを策定し、コーナーの設置を検討します。	2022（R4）年度終了	目標達成済	2022（R4）年度終了・目標達成済	
3-(1)-イ-②		関係機関等の情報をコーナーに排架し、提供します。	継続実施	2023（R5）年度に検討した書架管理方法に沿い、継続して実施する。	医療関係機関の発行資料や関係課主催イベントのチラシ等提供数：新規5点 配布数：約200部 「がんの冊子」：更新4点 配布数：約200部 総配布数：約400部	B
3-(1)-イ-③		信頼性の高い資料を、入門から専門的な情報へと深めるように排架し、情報を求めている層に最適化した書架構成を検討します。	継続実施	2023（R5）年度に検討した資料の更新・管理方法に沿い、継続して実施する。	排架マニュアルを改訂し、継続して資料を管理した。	B
3-(1)-イ-④		闘病記の排架方法や検索システム等、整備方針を定めて計画的に実施します。	整備方針を定める。	闘病記コーナーの書架管理を行う。	管理マニュアルに従って資料を管理した。疾患別に排架することについて課題整理を行った。	B
3-(1)-ウ-①	講座、セミナーの開催	関係機関と連携し、健康・医療情報を扱う講座等を計画し、実施します。	2024（R6）年度対象外	2024（R6）年度対象外	2024（R6）年度対象外	
3-(1)-エ-①	出張図書館の実施	市内病院や医療系大学等と連携し、関係機関が開催する市民向けの講座への出張図書館を検討します。	2024（R6）年度対象外（R8年度開始）	2024（R6）年度対象外（R8年度開始）	2024（R6）年度対象外（R8年度開始）	
3. 市民の課題を解決するサービス-(2)ビジネス支援--						
3-(2)-ア-①	蔵書の構築	ビジネスに役立つ多様な分野の資料を入門書から専門書まで広く収集します。	継続実施	継続して資料の収集研究を行う。	ビジネス支援に役立つ資料を継続して収集した。 評価点登録：159点（3-（3）ア-①を含む）	B
3-(2)-イ-①	データベースの整備	起業や農業活動等に有用なデータベースの導入を検討します。	選定したデータベースの予算要求を行う。	ビジネス支援用データベースについて、2025（R7）年度の予算として計上する。	予定通り予算要求を行った（予算は未獲得）。	B
3-(2)-ウ-①	利用促進	事例調査及び研究を行います。	継続実施	継続してビジネス支援サービスに関する研修に参加する。	ビジネス支援サービスに関する、課題解決支援サービス研修会、参考郷土等スキルアップ研修会等に参加し、資質向上を図った。	B
3-(2)-ウ-②		ビジネス支援のための図書館活用法パンフレット作成を計画し、実施します。	2024（R6）年度対象外	2024（R6）年度対象外	2024（R6）年度対象外	

評価 A:達成基準をクリアし、かつ十分な成果がある B:達成基準をクリアしている、あるいは年度末までに達成する見込みである
C:達成基準をクリアしていない、あるいはクリアしているが課題がある D:未実施 E:方向転換

通番	検討する事項	取組内容	2024（R6）実施目標	2024（R6）達成基準	2024（R6）結果	評価
3-(2)-エ-①	利用者がアクセスしやすい書架の整備	それぞれの専門的分野の資料を集中して排架する方法を計画し、実施します。	2024（R6）年度対象外	2024（R6）年度対象外	展示：4回 総展示資料：143点 延べ貸出資料：50点	B
3-(2)-オ-①	講座、セミナーの開催	働く世代を支援する講座等を計画し、実施します。	継続実施	ヤングアダルト（青少年）を対象とした就業に関する講座を実施する。	青少年向け講座「job tag（就職情報提供サイト）で仕事探索～未来の自分をみつけよう～」 講師：ハローワーク成田 就職支援ナビゲーター 12月26日（木） 参加者：8名	C
3-(2)-カ-①	相談会の実施（会場・資料提供）	事例調査及び研究を行います。	継続して情報収集する。	講師とのコネクションを構築する。	市内の関連イベント「高等学校と企業との就職情報交換会」6月21日（金）の視察を行い、就職活動に関する情報を得た。	B
3-(2)-カ-②		中小企業診断士等と協働し、起業相談会の開催を検討します。	継続して情報収集する。	講師とのコネクションを構築する。	2023（R5）年度に関係を築いた機関等との協働イベントを開催した。イベントの詳細は3-(2)-オ-①を参照。 関連資料の展示 展示資料：57点 延べ貸出資料：33点	B
3-(2)-キ-①	出張図書館の実施	商工団体のイベントや成田市産業まつり等に出張図書館を行い、ビジネス支援を広報するとともに、司書のレファレンスを含めたサービスの利用促進を図ります。	2024（R6）年度対象外（R7年度開始）	2024（R6）年度対象外（R7年度開始）	2024（R6）年度対象外（R7年度開始）	
3. 市民の課題を解決するサービス-(3)法情報--						
3-(3)-ア-①	蔵書の構築	法情報に関する図書・雑誌資料のほか関係機関誌やパンフレット等、幅広い資料の収集に努めます。	継続実施	継続して資料の収集研究を行う。	法情報に関する資料を継続して収集した。 評価点登録：159点（3-(2)-ア-①を含む）	B
3-(3)-イ-①	データベースの整備	法情報調査に有用なデータベースを調査し、導入を検討します。	新たなデータベースについて、4月2日に提供を開始し利用促進をする。	展示や掲示等を行う。	「特許情報データベースj-platpat」を4月2日（火）から提供を開始した。 関連資料の展示：2回 パンフレットの配布：3種	B
3-(3)-ウ-①	利用者がアクセスしやすい書架の整備	事例調査及び研究を行い、法情報コーナーの新設を検討します。	2024（R6）年度対象外（R7年度開始）	2024（R6）年度対象外（R7年度開始）	2024（R6）年度対象外（R7年度開始）	
3-(3)-ウ-②		パスファインダーを作成し、配布します。	法情報に関するパスファインダーを作成する。	初心者のための法情報に関するパスファインダーを作成する。	新規パスファインダー「初心者のための法情報の調べ方」を作成した。	B
3-(3)-エ-①		ニーズ調査を実施します。	2024（R6）年度対象外	2024（R6）年度対象外	2024（R6）年度対象外	
3-(3)-エ-②	講座、セミナーの開催	データベースの使い方講座や、関連専門機関のセミナー等の図書館での開催を検討します。	2024（R6）年度対象外	2024（R6）年度対象外	2024（R6）年度対象外	
3-(3)-オ-①	関係機関へ、図書館の資料案内等の配布	市民向け相談窓口を設置している機関へニーズ調査を実施します。	2024（R6）年度対象外	2024（R6）年度対象外	2024（R6）年度対象外	
3-(3)-オ-②		出張図書館や相談員と協働した推薦図書リストの作成等、法情報や判例資料の活用・提供について検討します。	2024（R6）年度対象外（R9年度開始）	2024（R6）年度対象外（R9年度開始）	2024（R6）年度対象外（R9年度開始）	

通番	検討する事項	取組内容	2024（R6）実施目標	2024（R6）達成基準	2024（R6）結果	評価
4.地域資料を活用するサービス-(1)地域資料--						
4-(1)-ア-①	地域資料の収集、提供	今後も、成田市を中心に、関連性の深い周辺地域を含めた歴史、地誌、民俗、芸術、文化及び産業等を記録した資料の収集を継続します。	継続実施	継続して、資料収集を行う。	地域資料：約770点（行政資料約70点を含む）。	B
4-(1)-ア-②		今後も、空港関係資料の収集を継続します。	継続実施	継続して、電子化されている資料を含め、航空関係資料を収集する。	航空・空港関係資料：約10点（電子化資料を含む）。 製本：3点	B
4-(1)-ア-③		行政資料の収集を継続します。	継続実施	継続して、行政資料を収集する。	行政資料：約70点、パンフレット等も収集・提供した。 庁内へ資料提供を依頼した。 行政資料室の廃棄資料リストを確認し図書館への移管資料を選定し、6点を移管した。	B
4-(1)-イ-①	地域資料のデジタル化	成田市関係新聞記事をデータベース化し、公開します。	継続実施	継続して、成田市関係新聞記事をデータベース化して公開する。	成田市史研究48号（2024年）の「成田市関係新聞記事目録」（514件）を公開した。	B
4-(1)-イ-②		地域資料のデジタル化を進めます。	地域の事典（成田の地名と歴史データベース）の公開に向け準備を行う。	新図書館システムで稼働させるため、業者と打ち合わせを行い、公開の仕様に合わせて校正作業を進める。	9月20日（金）地域の事典データベースの仕様について、図書館システム業者と打ち合わせを行った。 仕様については、引き続き検討を行う。校正は未着手。	C
4-(1)-イ-③		デジタル化した資料は、ホームページ上で公開を継続し、内容の充実を図ります。	デジタル化した資料の公開に向けて、問題点の検討を行う。	2023（R5）年度に整理した問題点の対処法を検討する。	未着手	D
4-(1)-ウ-①	イベント、講座の開催	地域への理解、関心を深めることを目的とし、講座の実施を継続します。	継続実施	市制施行70周年記念市史講座を実施する。	市史講座「房総の古墳文化を語る」 講師：若狭徹氏 12月1日（日） 参加者：125名	B
4-(1)-エ-①	展示の実施	収集した資料の活用、普及、提供のため、展示の実施を継続します。	継続実施	継続して、市史展示を実施する。	市史展示：2回	B
4-(1)-オ-①	関係機関との連携	各方面に働きかけを行い、どのような連携を図ることができるか検討します。	2024（R6）年度対象外（R8年度開始）	2024（R6）年度対象外（R8年度開始）	2024（R6）年度対象外（R8年度開始）	
4-(1)-カ-①	市史の編さん、頒布	今後も成田市史研究の発行を継続します。 今後の方向性を検討します。	継続実施	『成田市史研究』49号を発行する。	『成田市史研究』49号 2025年3月発行	B

通番	検討する事項	取組内容	2024（R6）実施目標	2024（R6）達成基準	2024（R6）結果	評価
5.地方自治を支えるサービス-(1)行政支援--						
5-(1)-ア-①	市職員への利用案内	新規採用職員研修において、行政課題解決のための図書館活用法を案内します。	継続実施	継続して、新規採用職員第1次研修で講義を実施する。	4月3日（水）令和6年度新規採用職員第1次研修「図書館の活用法について」 来年度も同様の形式で案内を実施する予定。	B
5-(1)-ア-②		業務に役立つ資料の紹介、研修に関連する資料の展示等を計画し、実施します。	市職員への利用案内を実施する。	課メール等を利用した周知を行う。	研修主催担当課にPRを行い、担当者より依頼・相談を受けて、研修の関連資料の貸出をした。	B
5-(1)-イ-①	行政向けレファレンスサービス	事例調査及び研究を行います。	入力方法をマニュアル化する。広報などの手段を含む職場の受付体制についてもまとめる。	・調達予定のレファレンス・講座管理システムの構築時に、行政向けレファレンスサービスを考慮して運用を検討する。 ・行政レファレンスの事例の受付数を調査する。	レファレンス・講座管理システムの構築についてシステム業者と打ち合わせを行い、3月から新システムの運用を開始した。 行政レファレンス:8件	B
5-(1)-イ-②		有料データベース等ツールの広報やレファレンス事例の紹介を通じて利用の促進を図ります。	継続実施	研修以外でのレファレンス紹介について検討する。	未着手	D
5-(1)-ウ-①	行政支援としての図書館資料の貸出	市職員への図書館資料の貸出システムについて検討します。	貸出手段について検討する。	継続して担当課と協議する。	システム構築予算未獲得となったため、担当課に説明を行った。	C
5.地方自治を支えるサービス-(2)学校図書館支援--						
5-(2)-ア-①	学校図書館の支援	今後も団体貸出を継続します。	2. 利用者層ごとのサービス（2）小学生・中学生の再掲	2. 利用者層ごとのサービス（2）小学生・中学生の再掲		
5-(2)-ア-②		団体貸出等図書館資料の配送体制の整備について、調査研究を行い、実施を検討します。	2. 利用者層ごとのサービス（2）小学生・中学生の再掲	2. 利用者層ごとのサービス（2）小学生・中学生の再掲		
5-(2)-イ-①	学校図書館司書等合同研修会の開催	今後も実施を継続します。学校図書館司書の要望等を踏まえ、内容を検討します。	2. 利用者層ごとのサービス（2）小学生・中学生の再掲	2. 利用者層ごとのサービス（2）小学生・中学生の再掲		
5-(2)-ウ-①	学校との連携	日本語を母語としない子どもと、周囲の大人を支援するための資料収集を行います。	2. 利用者層ごとのサービス（7）多文化の再掲	2. 利用者層ごとのサービス（7）多文化の再掲		
5-(2)-ウ-②		多言語資料の提供について検討します。	2. 利用者層ごとのサービス（7）多文化の再掲	2. 利用者層ごとのサービス（7）多文化の再掲		

成田市立図書館サービス計画－2024（R6）年度事業計画一覧表－

協議事項（3）－3

通番	検討する事項	取組内容	2024（R6）実施目標	2024（R6）達成基準	2024（R6）結果	評価
5.地方自治を支えるサービス-(3)議会図書室との連携--						
5-(3)-ア-①	議員へのレファレンスサービスの実施	レファレンスサービスを周知し、議員のレファレンスサービスの活用を促進します。	レファレンスサービスの利用案内を実施する。	議会図書室と連携し、議会図書室が発行する新着図書案内等でレファレンスサービスの利用促進を行う。	議会図書室で発行する新着図書案内にレファレンスについての案内を掲載した。	B
5-(3)-ア-②		議会図書室と連携し、議員への図書館資料の貸出について検討します。	担当課と協議を継続する。	物流の手順を担当課と協議する。	システム構築予算未獲得となったため、協議を行っていない。	D
5-(3)-イ-①	資料の整理・保存等の支援	議会図書室が所蔵する資料の整理を支援します。	資料の整理支援を開始する。	議会図書室が所蔵する資料の整理について協議する。	10月22日（火） 議会図書室について、議会事務局と打ち合わせを行った。	B
5-(3)-イ-②		議会図書室と連携し、成田市議会の過去の議事録等の保存等を支援します。	担当課と協議を継続する。	議会図書室と連携して成田市議会会議録の保存状況を確認し、デジタル化に向けた支援のため協議する。	10月22日（火） 議会図書室で保存している議事録等の保存について打合せを行った。	B
5.地方自治を支えるサービス-(4)行政資料室との連携--						
5-(4)-ア-①	連携方法についての研究	事例の調査研究を行います。	担当課と協議を継続する。	行政資料室から保存年限切れ地域関連資料を移管し、資料収集について協議する。	行政資料室の廃棄資料リストを確認し図書館への移管資料を選定した。協議については未実施。	C
5-(4)-イ-①	行政資料室での行政支援としての図書館資料の貸出	市職員への図書館資料の貸出システムについて検討します。	5. 地方自治を支えるサービス（1）行政支援の再掲		5-（1）-ウ-①の再掲	D
6.図書館サービスを支える電算システム---						
6--ア-①	図書館電算システム、ホームページの維持管理・運用	システムの機能向上について検討します。	業者選定 図書館システム更新（3月）	2月に図書館電算システム更新し、3月から新システムを稼働する。	2月に図書館電算システムを更新し、3月1日（土）から新システムを稼働した。	B
6--ア-②		ホームページの利便性向上を図り、マルチデバイス化を実施します。	予算要求	更新計画に基づいて仕様書を作成し、予算要求を行う。	予算要求用の資料を作成し、予算計上を行った。2025（R7）年度更新予定。	B
6--イ-①	新たな技術の導入	電子書籍サービスを導入します。	目標達成済	2022（R4）年度終了	2022（R4）年度終了	
6--イ-②		本館、公津の杜分館への公衆無線LANを設置します。	予算要求	設置に向けた予算要求を行う。	予算要求用の資料を作成し、予算要求を行ったが、予算化には至らなかった。	B
6--ウ-①	業務の効率化	機器の導入等により、業務の効率化を図ります。	実施	2月の図書館電算システム更新時に、ポータブルプリンタを導入する。	3月の新システム稼働に合わせて、ポータブルレシートプリンタ2台を導入した。	B
6--ウ-②		本館への自動返却仕分け機の導入を検討します。	実施	2月の図書館電算システム更新時に、本館へ自動返却仕分け機を導入する。	3月1日（土）から本館へ自動返却仕分け機2台を導入した。	B
7.職員の育成---						
7--ア-①	継続的な司書の確保と計画的な措置	継続的に司書の確保に努めます。	継続実施	司書の人員確保を計画的に人事課に要求する。	適正な人員配置となるよう、担当課と協議をし、人材の確保に努めた。	B
7--ア-②		司書の研修マニュアルを作成します。	マニュアルを更新する。	既存のマニュアルを整理し、必要な項目の一覧をまとめる。	未着手	D
7--ア-③		専門分野の習熟に必要な配置期間を確保します。	継続実施	レファレンス業務を補助なく行えるように、計画的に新任職員の研修を行う。	9月までに、新規採用職員3名について、レファレンスの新任研修を修了した。	B

評価 A:達成基準をクリアし、かつ十分な成果がある B:達成基準をクリアしている、あるいは年度末までに達成する見込みである
C:達成基準をクリアしていない、あるいはクリアしているが課題がある D:未実施 E:方向転換

通番	検討する事項	取組内容	2024（R6）実施目標	2024（R6）達成基準	2024（R6）結果	評価
7--イ-①	職員の資質・能力の向上	長期的な計画を立てて、計画的な職員育成をはかります。	継続実施	担当となった分野の研修に参加する。	課題解決支援サービス研修会、参考郷土スキルアップ研修会、障がい者サービス担当職員養成講座、スキルアップ研修会（児童サービス）等、各種研修に参加し、資質向上を図った。	B
8.施設・設備等---						
8--ア-①	施設の管理・運営	施設の計画的な修繕等の維持管理と、バリアフリーへの対応等、利用しやすい施設への改善に努めます。	継続実施	・予算計上している修繕、工事を計画的に実施する。 ・発生した施設の修繕を予算内で計画的に執行する。 ・利用者の利便性を高める取り組みについて検討する（2-（1）-ケ-①を含む）。	公津の杜分館の照明器具交換修繕を実施した。ホームページや掲示物等でバリアフリー対応の案内を実施した。おはなし室のクッションカバー修繕については2-（1）-ク-①に記載 利用しやすい施設への改善の取り組みについては、2-（1）-ケ-①に記載	B
8--ア-②		施設の管理・運営に関わるマニュアルを作成します。	2027（R9）年末までに蛍光灯の製造が廃止されることを見据え、将来的な館の運営に支障を来すことがないように、保有する在庫の管理を適切に行える仕組みの基礎を築く。	管理方法を記した文書や管理表の整備を行う。	館内の蛍光灯等の使用状況、倉庫内の在庫状況、廃棄量等の管理表を作成した。在庫管理方法については検討を進めている。	B
8--イ-①	居場所としての機能向上	滞在できる空間づくりを検討します。	ヤングアダルトコーナー（青少年）の新設に伴い、館内の閲覧席の配置について検討する。	2-（3）-ア-①に含める。	・公開図書室一般コーナーの閲覧席の設置 個人閲覧席：13席 ・学生が優先的に利用できる閲覧席の設置 個人閲覧席：11席 グループ閲覧席：12席	B
8--イ-②		グループ学習や図書館資料を利用したミーティングができる環境づくりを検討します。	本館にヤングアダルトコーナー（青少年）を設置する。	2-（3）-ア-①に含める。	10月12日（土）ヤングアダルトコーナー「青春HiROBA（アオハルひろば）」を新設した。	B
8--ウ-①	本館の閲覧席増加	閲覧席の増加について検討します。	ヤングアダルトコーナー（青少年）の新設に伴い、館内の閲覧席の配置について検討する。	2-（3）-ア-①に含める。	・公開図書室一般コーナーの閲覧席の設置 個人閲覧席：13席 ・学生が優先的に利用できる閲覧席の設置 個人閲覧席：11席 グループ閲覧席：12席	B
8--エ-①	本館の所蔵可能点数増加	公開書架、書庫等の所蔵可能点数増加について検討します。	書庫の図書所蔵可能点数を増やす。	スタジオ内の資料を整理し、市史資料をスタジオ内に移動することで、書庫の図書資料の所蔵点数を増やす。	保管資料の配置を整理し、一般書用書庫150段分（約4,500冊分）のスペースを確保した。	B
8--オ-①	危機管理能力の向上	図書館の危機管理マニュアルを作成し、体制を整備します。	2024（R6）年度対象外	2024（R6）年度対象外	2024（R6）年度対象外	
8--カ-①	全域サービス網整備	全域サービス網の整備を計画的に進めます。	2024（R6）年度対象外	2024（R6）年度対象外		